

『山梨県環境整備センターオオタカ保護連絡会議』について

～ 会議の概要 ～

《経緯》

- ・ 財団法人山梨県環境整備事業団では、平成12年から山梨県環境整備センター（以下、「センター」という。）周辺でのオオタカの生息・繁殖状況のモニタリング調査を開始した。
- ・ 平成13年には、鳥類専門家によるオオタカ保護策に係る検討を目的とした会議を開催し、平成19年からは、地元自然保護団体を加えた『オオタカ保護連絡会議』を設置した。
- ・ 以後、同会議では毎年実施したオオタカ等繁殖期モニタリング調査（以下、「モニタリング調査」という。）結果の評価・検討を行っている。
- ・ 今回の会議は、通算8回目の開催となる。

《平成24年の保護連絡会議の内容》

本日、会議を開催し、次のとおり平成24年のモニタリング調査結果及び平成25年の調査計画について検討を行い、承認された。

（1）平成24年モニタリング調査結果について

- ・ 今年新たに確認されたセンター周辺の巣（1箇所）において、オオタカの繁殖が成功した。なお、オオタカの繁殖の成功は平成21年5月のセンター開業以来、平成23年から連続して2回目となる。
- ・ センターの業務は、オオタカの繁殖に影響を与えていない。

（2）平成25年モニタリング調査計画について

- ・ 平成25年もセンター周辺において、今年と同等のモニタリング調査を行う。

（3）その他

- ・ 地元自然保護団体の委員から、有害鳥獣の駆除を行うにあたっては、オオタカ保護について注意喚起をしていく必要があるのではないかと意見が出された。